

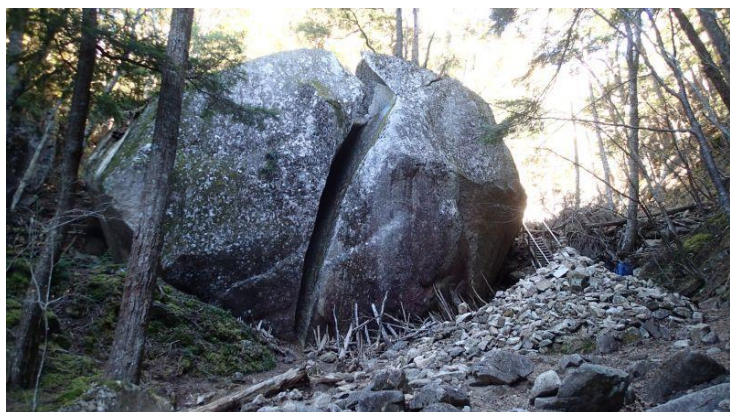
2024/11/04(月)

瑞牆山(みずがき山自然公園～不動滝コース 反時計周回)

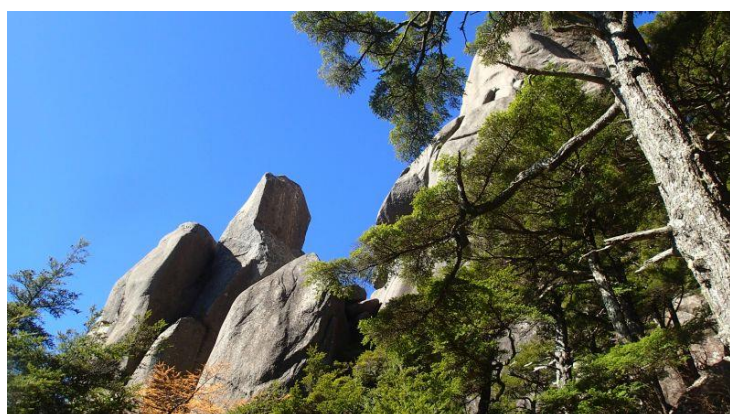
メンバー:L 辻、福田(記録)、有賀、会員外 1

公園側の駐車場は予想より余裕はあるが、テントも車もたくさんだ。岳樺の葉は落ち残りの紅葉を楽しみながら、富士見平小屋を目指して登る。静かで歩きやすいいいコースだ。

石楠花の大きいのがみごとに両脇に続く。
林道出会いからは人も増え出し、小屋の周りたくさんのテントと人もわんさか。



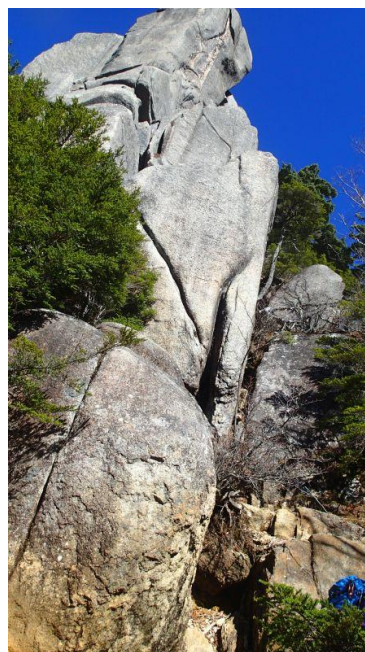
▲桃太郎岩



【コースタイム】

天気:快晴

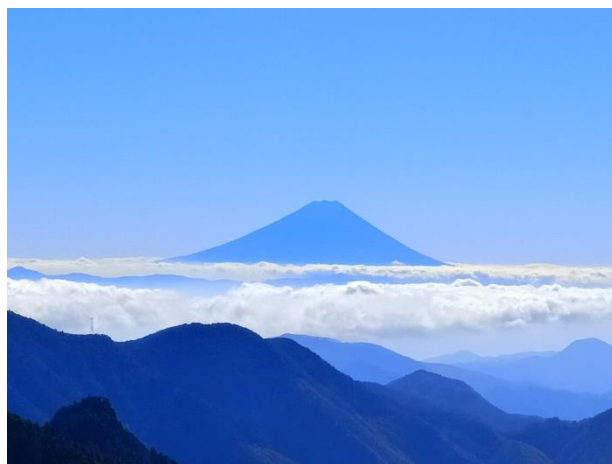
06:30 みずがき山自然公園 P
08:10 富士見平小屋 小休止 8:35 出
09:05 桃太郎岩
10:30 大ヤスリ岩
11:00 瑞牆山 大休憩 11:40 出
13:00 不動滝 小休止 13:20 出
14:40 みずがき山自然公園 P



▲ローソク岩

天鳥川まで登った分を下り、桃太郎岩から登りが始まる。沢沿いに大岩を這い上がり、鎖、梯子の繰返し、すれ違いに時間のかかる悪路1時間半。

ろうそく岩を過ぎると、回り込んですぐ頂上だ。いつ来てもどきどきする巨岩の集まりに圧倒される。人がいっぱい写真もままならないが、岩の端で昼食。まだ、次々と登ってくる。



未だ初冠雪せず

下り方面の滝へ下りるコースは、上りと全く変わり、苔と樹林の根の急な道をいっきに下りる。巨岩をまき、時々徒渉があり、紅葉も楽しめ、湿っぽいが静かな山でおすすめだ。石楠花もたくさん。



▲不動滝(ナメ滝)

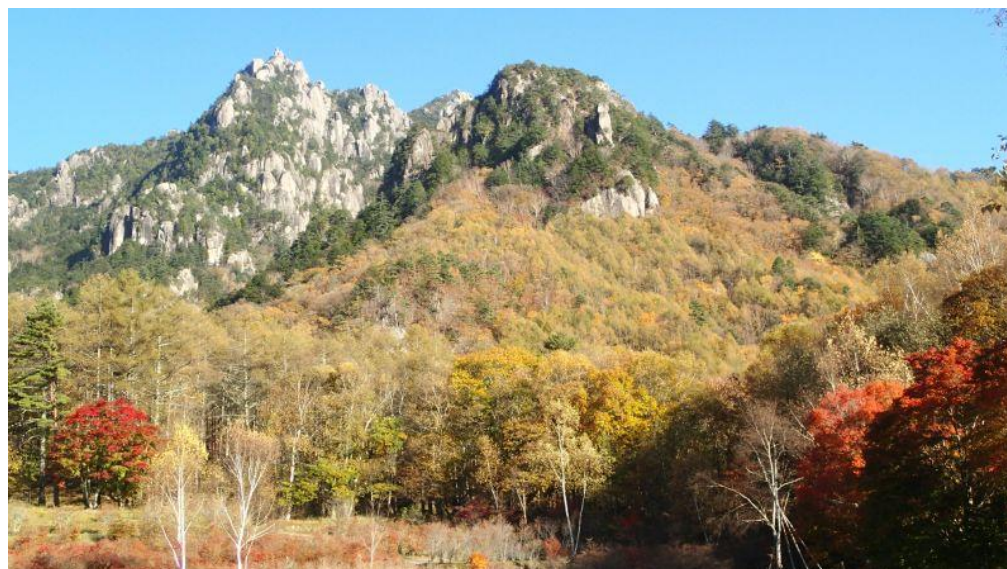
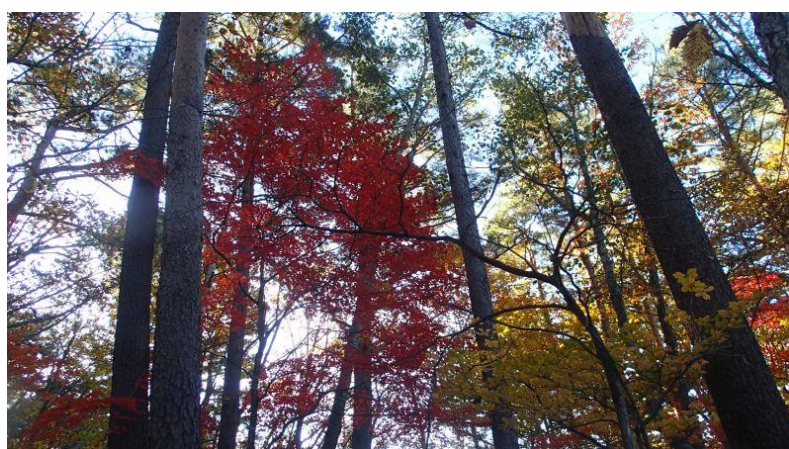
不動滝は一枚岩に釜が作られ、独特のもの。後は沢ぞいに公園をめざす。

マットを背負った岩やさんがあちらこちらに現れ、駐車場まで路駐でいっぱい、岩登りの若者が多い。

2001年に皇太子(現天皇)が来て、植樹祭が行われ、その後が芝生公園になったとのこと。ここから見る瑞牆山も山の全様が見られ、なかなか迫力あり。今日のコースは瑞牆山の表(陽)と裏(陰)の両局面を楽しめ、リーダーに感謝です。



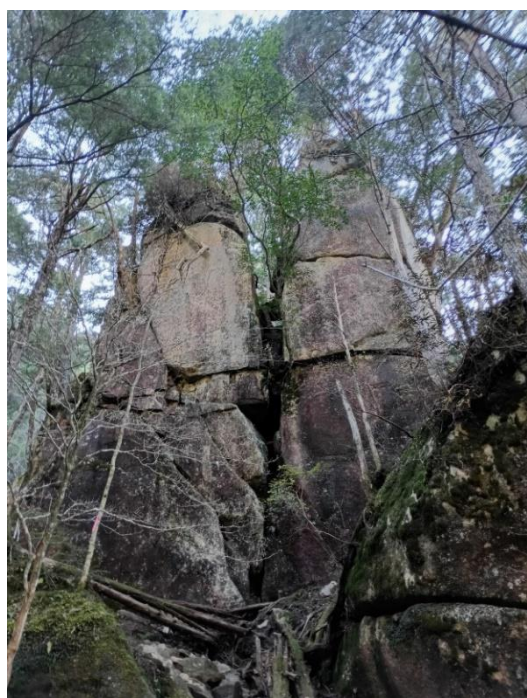
▲公園のイロハカエデ(皇太子が植林)



▲みずがき山自然公園から望む瑞牆山



▲上から見たローソク岩



▲夫婦岩



▲カエル? 熊?

水墨画を思わせる特異な巨大岩峰群が並ぶ瑞牆山。絶壁でクライミングの練習をする人。大きなマットレスを背負ってボルダリングの場所を探す人。秋晴れの青空の下、巨岩に囲まれてウチワカエデ、イロハモミジの紅葉を愛でながら陽と陰の両局面が楽しめ、とても思い出深い山行となった。

(編集後記 辻)